

基本計画書

基本計画書									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者		カッポリジシ トホクイヤッカダ イダク 学校法人 東北医科薬科大学							
フリガナ大学の名称		トホクイヤッカダ イダク 東北医科薬科大学 (Tohoku Medical and Pharmaceutical University)							
大学本部の位置		宮城県仙台市青葉区小松島四丁目4番1号							
大学の目的		教育基本法及び学校教育法に基づき、医学及び薬学に関する理論と応用の教授研究を行い、専門的な知識と能力及び高い倫理性を身につけた高度医療を支える医師及び薬剤師並びに医学と薬学の領域にまたがる生命科学に関する高度の専門知識を有する研究者及び技術者を養成することを目的とする。							
新設学部等の目的		薬学部薬学科において、外部環境及び当学科のこれまでの志願者数・入学者数を踏まえ、入学者の質の維持・向上の観点から適正な定員設定を図るため、収容定員の削減を行うもの。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	薬学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次	
	薬学科	6	280 (300)	—	1680 (1800)	学士（薬学）	薬学関係	令和8年4月 第1年次	宮城県仙台市青葉区小松島四丁目4番1号
	生命薬科学科	4	30	—	120	学士（薬科学）	薬学関係		
	医学部								
	医学科	6	100	—	600	学士（医学）	医学関係		宮城県仙台市宮城野区福室一丁目15番1号
計			410 (430)	—	2400 (2520)				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数						卒業要件単位数	
	—	講義	演習	実験・実習	計	— 科目			
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
新	薬学部 薬学科	教授 人	准教授 人	講師 人	助教 人	計 人	4 (4)	11 (11)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	23 (23)	7 (7)	7 (7)	9 (9)	46 (46)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	23 (23)	7 (7)	7 (7)	9 (9)	46 (46)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	23 (23)	7 (7)	7 (7)	9 (9)	46 (46)			

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
28人

設	薬学部 生命薬科学科					7 (7)	6 (6)	3 (3)	3 (3)	19 (19)	2 (2)	5 (5)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	6 (6)	3 (3)	3 (3)	19 (19)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	小計（a～b）	7 (7)	6 (6)	3 (3)	3 (3)	19 (19)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	計（a～d）	7 (7)	6 (6)	3 (3)	3 (3)	19 (19)							
分	医学部 医学科					59 (59)			34 (34)	45 (45)	80 (80)	218 (218)	23 (23)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	59 (59)	34 (34)	45 (45)	80 (80)	218 (218)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	小計（a～b）	59 (59)	34 (34)	45 (45)	80 (80)	218 (218)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	計（a～d）	59 (59)	34 (34)	45 (45)	80 (80)	218 (218)							
計					89 (89)	47 (47)			55 (55)	92 (92)	283 (283)	29 (29)	36 (36)
既	該当なし					— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)							
	小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)							
	計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)							
分	計					— (—)			— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合 計					89 (89)	47 (47)	55 (55)	92 (92)	283 (283)	29 (29)	36 (36)	

職 種			専 属		その他		計		技術職員 (薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、歯科衛生士、歯科技工士、理学療法士作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、管理栄養士、栄養士、調理師、ボイラー技士、運転手、看護補助員、調理補助員、技術職員、用務員、医師、歯科医師、看護師、助産師、准看護師、研究補助員等)		
事 務 職 員			206 (206)		45 (45)		251 (251)				
技 術 職 員			1066 (1066)		133 (133)		1199 (1199)				
図 書 館 職 員			4 (4)		3 (3)		7 (7)				
そ の 他 の 職 員			0 (0)		0 (0)		0 (0)				
指 導 補 助 者			0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計			1276 (1276)		181 (181)		1457 (1457)				
校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地		54,140.35㎡	0 ㎡	0 ㎡		54,140.35㎡				
	そ の 他		52,402.02㎡	0 ㎡	0 ㎡		52,402.02㎡				
	合 計		106,542.37㎡	0 ㎡	0 ㎡		106,542.37㎡				
校 舎			専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計				
			134,037.95㎡ (134,037.95㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)		134,037.95㎡ (134,037.95㎡)				
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室	37室	教 員 研 究 室	88室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	大学全体		
			冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	薬学部薬学科		124,810 [42,405] (124,810 [42,405])	42,325 [34,163] (42,325 [34,163])	1,196 [541] (1,196 [541])	13,846 [12,152] (13,846 [12,152])	2,085 (2,085)	3 (3)			
	計		124,810 [42,405] (124,810 [42,405])	42,325 [34,163] (42,325 [34,163])	1,196 [541] (1,196 [541])	13,846 [12,152] (13,846 [12,152])	2,085 (2,085)	3 (3)			
スポーツ施設等			スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体		
			0 ㎡		770.30 ㎡		6940.93 ㎡				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体、 電子ジャーナル、データベース、その他の経費（運用コスト）を含む。	
		教員1人当り研究費等			238千円	238千円	238千円	238千円	238千円		238千円
		共同研究費等			14,000千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円		14,000千円
		図 書 購 入 費	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円		
	学生1人当り納付金	設 備 購 入 費	82,034千円	82,034千円	82,034千円	82,034千円	82,034千円	82,034千円	82,034千円	82,034千円	学生納付金は、上から、薬学部薬学科、薬学部生命薬科学科、医学部医学科
		第1年次			2,225千円	1,825千円	1,825千円	1,825千円	1,825千円	1,825千円	
					1,780千円	1,430千円	1,430千円	1,430千円	—	—	
					6,500千円	5,500千円	5,500千円	5,500千円	5,500千円	5,500千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、受託研究等の外部資金							

	大 学 等 の 名 称	東北医科薬科大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充 足 率	開設 年度	所 在 地	
既 設 大 学 等 の 状 況	薬学部	年	人	年次 人	人		倍			※令和4年度 入学定員減 (△10)
	生命薬科学科	4	30	—	120	学士(薬科学)	0.97	平成18 年度	宮城県仙台市青葉区 小松島4丁目4番1号	
	医学部									
	医学科	6	100	—	600	学士(医学)	1.01	平成28 年度	宮城県仙台市青葉区 小松島4丁目4番1号 (1～2年次) 宮城県仙台市宮城野 区福室1丁目15番1号 (3～6年次)	
	薬学研究科									
	薬学専攻 博士課程	4	3	—	12	博士(薬学)	0.83	平成24 年度	宮城県仙台市青葉区 小松島4丁目4番1号	
	薬科学専攻 博士前期課程	2	20	—	40	修士(薬科学)	0.20	平成22 年度	同上	
	薬科学専攻 博士後期課程	3	3	—	9	博士(薬科学)	1.33	平成24 年度	同上	
	医学研究科									
	医学専攻 博士課程	4	10	—	30	博士(医学)	0.95	令和5 年度	宮城県仙台市宮城野 区福室1丁目15番1号	
附属施設の概要		名 称：東北医科薬科大学 薬用植物園 目 的：実習 所 在 地：宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号 設置年月：1939(昭14)年4月(本学の前身)東北薬学専門学校設立と同時に設置 規 模 等：敷地面積2,437.5㎡ 名 称：東北医科薬科大学病院 目 的：診療及び臨床実習 所 在 地：宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 設置年月：1946(昭21)年5月宮城第一病院、1982(昭57)年10月東北厚生年金病院へ改称、2013(平25)年4月東北薬科大学病院へ移行及び名称変更 規 模 等：敷地面積36,440.53㎡、建物延床面積27,880.77㎡、600床 名 称：東北医科薬科大学 若林病院 目 的：診療及び臨床実習 所 在 地：宮城県仙台市若林区大和町2丁目29番1号 設置年月：1979(昭54)年12月日本電信電話公社東北通信病院、1985(昭60)年4月NTT東北通信病院へ改称、1999(平11)年7月NTT東日本東北病院へ改称、2016(平28)年4月東北医科薬科大学 若林病院へ移行及び名称変更 規 模 等：敷地面積17,572㎡、建物延床面積19,923㎡、127床								

学校法人東北医科薬科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
東北医科薬科大学				東北医科薬科大学				
薬学部				薬学部				
薬学科(6年制)	300	-	1,800	薬学科(6年制)	280	-	1,680	定員変更(△20)
生命薬科学科	30	-	120	生命薬科学科	30	-	120	
医学部				医学部				
医学科	100	-	600	医学科	100	-	600	
計	430	-	2,520	計	410	-	2,400	
東北医科薬科大学大学院				東北医科薬科大学大学院				
薬学研究科				薬学研究科				
薬学専攻(4年制D)	3	-	12	薬学専攻(4年制D)	3	-	12	
薬科学専攻(M)	20	-	40	薬科学専攻(M)	20	-	40	
薬科学専攻(D)	3	-	9	薬科学専攻(D)	3	-	9	
医学研究科				医学研究科				
医学専攻(4年制D)	10	-	40	医学専攻(4年制D)	10	-	40	
計	36	-	101	計	36	-	101	

(1) 都道府県内における位置関係の図面

(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間が分かる図面

ACCESS MAP

アクセス情報

新幹線

●新青森駅	約 1 時間 50 分	仙台駅
●秋田駅	約 2 時間 20 分	
●盛岡駅	約 40 分	
●福島駅	約 20 分	
●東京駅	約 1 時間 40 分	

飛行機

●札幌(千歳)	約 1 時間 10 分	仙台 空港
●成田	約 55 分	
●名古屋	約 1 時間 10 分	
●大阪(伊丹)	約 1 時間 10 分	
●大阪(関西)	約 1 時間 20 分	
●福岡	約 1 時間 40 分	
●那覇	約 2 時間 50 分	



小松島キャンパス 〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号 Tel:022-234-4181 Fax:022-275-2013

小松島キャンパス
までの交通機関
(仙台駅より)

市バス	JR仙台駅西口 17番 乗車(20分)	東北医科薬科大・東北高校前 下車(徒歩1分)
JR仙山線	JR仙台駅 乗車(4分)	東照宮駅 下車(徒歩15分)
地下鉄南北線	JR仙台駅 乗車(9分)	台原駅 下車(徒歩15分)

福島キャンパス 〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福島1丁目15番1号 Tel:022-290-8850 Fax:022-290-8860

福島キャンパス
までの交通機関
(仙台駅より)

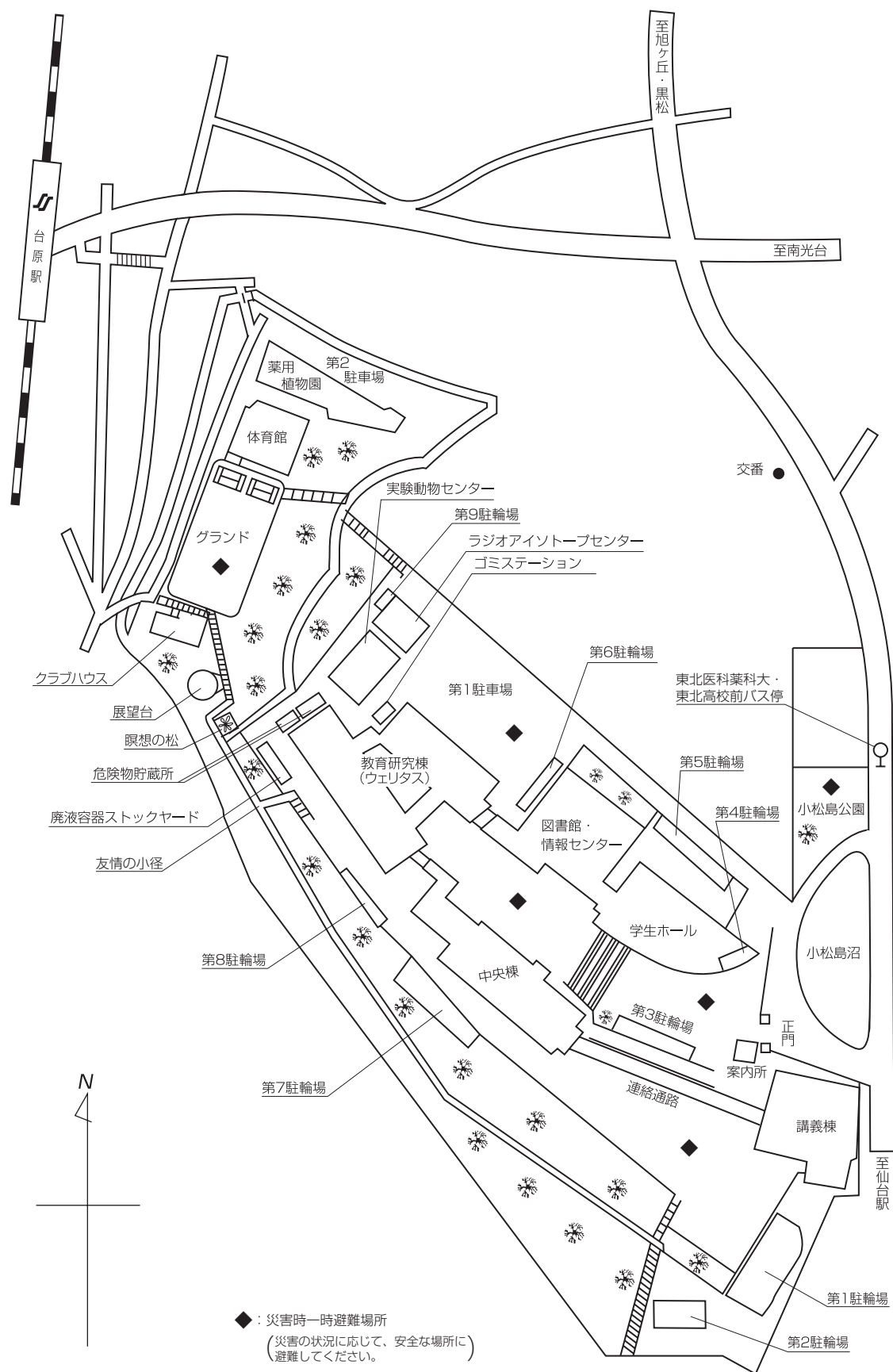
市バス	JR仙台駅西口 アイリス青葉ビル前 50番 乗車(35分)	東北医科薬科大学病院入口 下車(徒歩3分)
宮交バス	JR仙台駅西口 アイリス青葉ビル前 50番 乗車(35分)	陸前高砂駅 下車(徒歩7分)
JR仙石線	JR仙台駅 乗車(16分)	陸前高砂駅 下車(徒歩7分)

東北医科薬科大学
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY



(3) 校舎、運動場等の配置図

小松島キャンパス 校舎配置図



改正	昭和38年4月1日	昭和39年7月1日
	昭和40年4月1日	昭和41年4月1日
	昭和42年4月1日	昭和46年4月1日
	昭和46年9月1日	昭和55年4月1日
	昭和55年9月1日	昭和58年4月1日
	昭和60年4月1日	昭和61年4月1日
	昭和63年4月1日	平成2年4月1日
	平成3年4月1日	平成3年12月1日
	平成4年4月1日	平成5年4月1日
	平成6年4月1日	平成7年4月1日
	平成8年4月1日	平成9年4月1日
	平成10年4月1日	平成11年4月1日
	平成12年4月1日	平成14年4月1日
	平成15年4月1日	平成16年4月1日
	平成17年4月1日	平成18年4月1日
	平成19年4月1日	平成20年4月1日
	平成21年4月1日	平成22年4月1日
	平成23年4月1日	平成24年4月1日
	平成25年4月1日	平成27年4月1日
	平成28年4月1日	平成30年4月1日
	令和2年4月1日	令和3年5月22日
	令和3年10月21日	令和5年7月27日
	令和5年10月19日	令和7年2月20日

第1章 総則

(目的及び使命)

第1条 東北医科薬科大学（以下「本大学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医学及び薬学に関する理論と応用の教授研究を行い、専門的な知識と能力及び高い倫理性を身につけた高度医療を支える医師及び薬剤師並びに医学と薬学の領域にまたがる生命科学に関する高度の専門知識を有する研究者及び技術者を養成することを目的とし、医学及び薬学の進展を図り、人類の福祉と地域医療の充実等に貢献することを使命とする。

(自己点検・評価等)

第1条の2 本大学は、その教育研究の水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価を行うに当たっては、同項の趣旨に即し適切な項目を設定するとともに、これらを実施するため自己点検・評価委員会を設置するものとする。

3 自己点検・評価規程及び自己点検・評価委員会規程は、別に定める。

4 本大学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた機関による評価を受けるものとする。

(情報の積極的な提供)

第1条の3 本大学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

(組織・収容定員)

第2条 本大学に、医学部医学科並びに薬学部薬学科及び薬学部生命薬科学科を置き、それぞれの入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学科	入学定員	収容定員
医学部	医学科	100名	600名
薬学部	薬学科	280名	1680名
	生命薬科学科	30名	120名

2 本大学に、大学院を置く。

3 大学院に関する学則は、別に定める。

(教育研究上の目的)

第2条の2 医学部医学科（以下「医学科」という。）においては、医学に関する高度の専門的知識を修得させるとともに、日々発展する先進的な医学への探求心を育み、地域医療に貢献できる医師の養成を主たる教育研究目的とする。

2 薬学部薬学科（以下「薬学科」という。）においては、医療人としての心豊かな人間性と倫理観を持ち、先進的な薬物療法を探究するとともに疾病の予防・治療及び健康増進に積極的に参画する意識と実践力を備え、地域医療に貢献できる薬剤師の養成を主たる教育研究目的とする。

3 薬学部生命薬科学科（以下「生命薬科学科」という。）においては、薬学・生命科学に携わる人としての心豊かな人間性と倫理観を持ち、医学と薬学の2つの領域にまたがる生命科学を探究するとともに高度の専門知識を修得し、健康に関する様々な分野で活躍する人材の養成を主たる教育研究目的とする。

(修業年限・在学年限)

第3条 医学科及び薬学科の修業年限は6年とする。ただし、12年を超えて在学することはできない。

2 生命薬科学科の修業年限は、4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。

(学年・学期・休業日)

第4条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

2 学年を、次の二期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

3 休業日は、次のとおりとする。

土曜日及び日曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する日

春季休業 3月1日から4月5日まで

夏季休業 8月1日から9月15日まで

冬季休業 12月15日から翌年1月6日まで

4 休業日において、必要があるときは、授業を行うことがある。

5 春季、夏季及び冬季の休業期間は、必要により変更することがある。

6 臨時休業は、その都度定める。

第2章 教育課程・授業科目・履修方法

(教育課程)

第5条 本大学の教育課程は、その授業科目を次のとおり定める。

医学科 基礎教養科目、準備教育科目、行動科学、社会医学、基礎医学、臨床医学、前臨床実習、臨床実習及び統括講義

薬学科 総合科目（教養科目、社会薬学科目）、専門科目（基礎薬学科目、医療薬学科目、衛生薬学科目、臨床薬学科目、実習科目及び卒業研究）

生命薬科学科 総合科目、専門科目（化学系薬学科目、生物系薬学科目、医療系薬学科目、実習科目及び卒業研究）

(授業科目・履修単位)

第6条 授業科目を、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。

2 授業科目及び履修単位は、医学科にあつては別表1—1、薬学科にあつては別表1—2、生命薬科学科にあつては別表1—3の教育課程年次別単位配当表のとおり定める。

(授業の方法)

第6条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 前項の授業を実施する授業科目については別に定める。

4 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

(単位計算の基準)

第7条 各授業科目の単位は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究の授業科目等については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(1年間の授業期間)

第8条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業期間)

第8条の2 各授業科目の授業は、十分な教育効果を上げることができるよう、8週、10週、15週その他の本大学が定める適切な期間を単位として行うものとする。

(履修単位)

第9条 在学中に履修しなければならない単位は次のとおりとする。

医学科

基礎教養科目 19.5単位以上

準備教育科目 7.5単位以上

行動科学 4.5単位

社会医学 11単位

基礎医学 34.5単位

臨床医学 42単位

前臨床実習 15.5単位

臨床実習 78単位

統括講義 7.5単位

総計 220単位以上

薬学科

総合科目 38単位以上

専門科目 148単位以上

総計 186単位以上

生命薬科学科

総合科目 35単位以上

専門科目 89単位以上

総計 124単位以上

- 2 履修方法等については、医学科にあつては医学部教授会が、薬学科及び生命薬科学科にあつては薬学部教授会が別に定める。

第3章 試験・卒業・学位

(試験及び単位修得の認定)

第10条 各科目の授業実施時間数の3分の2以上出席し、かつ試験に合格の成績を得たときは、その授業科目の単位を修得したものとする。ただし、教授会が必要と認めるときは、平常の課題等の成績をもって試験に代えることができる。

- 2 試験及び単位修得の認定については、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第10条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）を本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った大学以外（短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修）の教育施設等における学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学、転科等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。

- 4 前3項に関する必要な事項は、別に定める。

(試験の時期)

第11条 授業科目の試験は、原則として学期末に行う。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、学期末以外の時期に試験を実施することができる。

(成績の評価)

第12条 成績は、秀、優、良、可、不可の順とし、可以上を合格、不可は不合格とする。

(卒業の認定)

第13条 本大学に、医学科及び薬学科は6年以上、生命薬科学科は4年以上在学し、第9条に定める所定の単位を修得した者は卒業と認定し、卒業証書・学位記を授与する。

- 2 第9条に定める卒業要件として修得すべき単位数のうち、第6条の2第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位)

第14条 本大学の卒業者には、次のとおり学位を授与する。

- (1) 医学科卒業者には、学士（医学）を授与する。
- (2) 薬学科卒業者には学士（薬学）を授与する。
- (3) 生命薬科学科卒業者には学士（薬科学）を授与する。

第4章 職員組織・教授会

(職員組織)

第15条 本大学に、学長、教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。

- 2 本大学に、事務職員、医療職員、技能職員を置く。
- 3 前項のほか、副学長その他必要な職員を置くことができる。
- 4 病院の職員組織は、別に定める。

(教授会)

第16条 本大学の医学部及び薬学部、に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長及び学部、に所属する教授をもって組織する。
- 3 前項の規定にかかわらず、必要があるときは、他の教職員を加えることができる。
- 4 教授会は、学長が定める次の事項について決定するに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学及び卒業に関する事。
 - (2) 学位の授与に関する事。
 - (3) 教育課程及び試験に関する事。
 - (4) 学生の賞罰に関する事。
 - (5) 教授、准教授、講師及び助教の資格審査に関する事。
 - (6) 学則に関する事。
 - (7) 前号までに掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 5 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下、本条において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べる事。
- 6 教授会は学長等が必要と認めたとき、若しくは構成員の3分の2以上の要求があったとき、これを開く。
- 7 本条に定めるもののほか、教授会に關し必要な事項は別に定める。

(名誉称号)

第17条 本大学に、名誉学長及び名誉教授を置くことがある。

- 2 前項に關し必要な事項は、別に定める。

第5章 入学・編入学・休学・復学・退学・転学・転科・除籍・復籍

(入学期)

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第19条 本大学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 専修学校の高等課程（就業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(出願手続)

第20条 入学を志願する者は、入学願書及びその他の書類を所定の期日までに提出しなければならない。

(選考)

第21条 入学志願者に対しては、選考の上、合格者にその旨を通知する。

- 2 入学試験に関する必要な事項は、別に定める。

(編入学)

第22条 次の各号の一に該当する者が、本大学（医学科を除く。）に編入学を願い出たときは、学長は欠員のある場合に限り、選考の上、入学を許可することができる。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
- (3) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (4) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者又はこれに準ずる者
- (5) 専修学校の専門課程を修了した者で、文部科学大臣の定めるところにより大学への編入学の資格を認められた者

2 編入学に関し必要な事項は、別に定める。

(入学手続)

第23条 入学、編入学試験に合格した者は、所定の期日までに保証人を定め、誓約書、保証書及び所定の書類を提出するとともに、所定の納付金を納入しなければならない。

(入学許可等)

第24条 前条第1項に定める手続及び第30条の入学金等の納付が完了した者に入学を許可する。

2 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に列席しなければならない。

(休学)

第25条 疾病その他の事由で引き続き3か月以上修学ができない者は、休学を願い出ることができるものとし、その期間は、在学年数に算入しない。

2 前項により休学しようとする者は、その事由を付した保証人連署の願書を提出して、学長の許可を得なければならない。ただし、疾病のため休学しようとする場合は、医師の診断書を添えなければならない。

3 前2項にかかわらず、本大学が、疾病その他特別の事由があると認める者に休学を命ずることができる。

4 休学の期間は、休学を許可された日から、原則として、当該学期末又は当該年度末までとする。

5 休学の期間は、通算して医学科及び薬学科においては6年間、生命薬科学科においては4年間を超えることができない。

(復学)

第26条 休学中の者が復学しようとする場合は、学長に願い出てその許可を得なければならない。ただし、疾病による休学者は、医師の診断書を添えなければならない。

(退学・転学・転科)

第27条 退学しようとする者は、その事由を付して保証人連署の願書を提出して、学長の許可を得なければならない。

2 本大学から他の大学へ転学を希望する者は、学長に願い出てその許可を得なければならない。

3 本大学において、転科を希望する場合には、選考のうえ、許可する場合がある。ただし、定員に欠員のある場合に限る。

4 転科に関し必要な事項は、別に定める。

(再入学)

第27条の2 前条第1項においてやむを得ない理由により退学した者が、1年以内に再入学を願い出たときは、選考の上、これを許可することができる。

2 再入学の学年は、退学時の学年とし、再入学時期は、学年の始めとする。

3 退学前の在学年数と休学期間は、累積通算されるものとする。

(除籍)

第28条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長がこれを除籍することができる。

- (1) 第25条第5項に定める休学期間に達しても復学できない者
- (2) 第3条に規定する在学年限を経てなお所定の課程を修了できない者
- (3) 同一学年に2年在学しなお修了できない者
- (4) 授業料、在籍料、その他の納付金を所定の期日までに納付しない者で、なおかつ督促を受けてから30日以内に納付しない者
- (5) 在籍中に死亡した者

(復籍)

第28条の2 前条第4号により除籍された者が14日以内に復籍を願い出たときは、教授会の議を経て、学長が許可することがある。

第6章 入学検定料・入学金及びその他の納付金・授業料・在籍料

(入学検定料)

第29条 入学、編入学を志願する者は、願書に添えて別表2—1及び別表2—2に定める入学検定料を納付しなければならない。

(入学金及びその他の納付金)

第30条 入学試験、編入学試験に合格した者は、所定の期日までに別表2—1及び別表2—2に定める入学金及びその他の納付金を納付しなければならない。ただし、第27条の2に定める者については、免除することがある。

(授業料及びその他の納付金)

第31条 授業料及びその他の納付金は、別表2—1及び別表2—2に定めるとおりとし、次の2期に分納することができる。

第1期 4月1日から5月31日まで

第2期 10月1日から11月30日まで

2 休学期間が学期の全期間にわたる場合は、その学期の授業料、施設設備費、教育充実費は免除する。ただし、別表2—1及び別表2—2に定める在籍料を納入しなければならない。

3 第22条に定める者は、新入学生に準じて納付しなければならない。

(納付金の返付)

第32条 前条にかかる既納の納付金は、返付しない。ただし、入学手続きを完了した者で、所定期日までに入学辞退の届出をした場合は、納付した施設設備費を返付する。

第7章 委託研究生・科目等履修生・研究生・特別聴講学生・外国人特別学生

(委託研究生)

第33条 公共団体その他の機関から、本大学の特定科目につき研究従事の委託をされた者がある場合は、選考の上、委託研究生として入学を許可することがある。

2 委託研究生が研究に従事した特定科目につき、その研究事項について証明を願い出た場合は、証明書を交付する。

(科目等履修生)

第34条 本大学の学生以外の者で、本大学において開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者がある場合には、本大学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生としてその入学を許可することがある。

2 科目等履修生規程は、別に定める。

(研究生)

第35条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がある場合には、本大学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生規程は、別に定める。

(特別聴講学生)

第35条の2 本大学と単位互換協定のある大学又は短期大学の学生で、本大学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、単位互換協定に基づき特別聴講学生として科目の履修を許可することができる。

2 本大学学生が本大学と単位互換協定のある大学又は短期大学において特別聴講学生として修得した科目については、本大学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

3 他大学の特別聴講学生については、単位互換協定に基づき試験その他の本大学が定める適切な方法により学修の成果を評価の上、単位を与えることができる。

4 本大学の特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

(外国人特別学生)

第36条 第19条に定める入学資格のない外国人で、外務省在外公館又は本邦所在外国公館から推薦された者に限り、高等学校卒業程度でその性行学力を考査の上、外国人特別学生として定員外に入学を許可することがある。

2 外国人特別学生で所定の課程を修了した場合には、証明書を交付する。

(納付金)

第37条 委託研究生、科目等履修生及び研究生の納付金は、別表2—1及び別表2—2のとおりとする。

2 外国人特別学生は、新入学生に準じて納付しなければならない。

3 特別聴講学生の納付金は、単位互換協定に基づき徴収しないものとする。

(学則の準用)

第38条 本章に規定する場合を除き、第4条、第7条から第12条まで(第9条第1項及び第10条の2を除く)、第18条、第32条、第41条及び第42条の規定は、委託研究生、科目等履修生、研究生、特別聴講学生及び外国人特別学生にこれを準用する。

第8章 公開講座

(公開講座)

第39条 本大学において、公開講座を行うことがある。

第9章 附属施設

(附属図書館)

第40条 本大学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(附属病院)

第40条の2 本大学に、次の附属病院を置く。

(1) 東北医科薬科大学病院

(2) 東北医科薬科大学若林病院

2 附属病院に関し必要な事項は、別に定める。

(薬用植物園)

第40条の3 本大学に、薬用植物園を置く。

2 薬用植物園に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理センター)

第40条の4 本大学に、保健管理センターを置き、学生及び教職員の健康管理を行う。

2 保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

(その他教育施設等)

第40条の5 本大学に、その他必要な教育研究施設等を置くことができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 賞罰

(表彰)

第41条 学業成績が特に優秀な者又は特に善行のあった者に対しては、これを表彰することがある。

(懲戒)

第42条 学則に違反した者及び学生の本分に反する行為のあった者は、教授会の議を経て、学長がこれを懲戒に処する。

2 懲戒は、訓戒、謹慎、停学及び退学の4種とする。

3 前項に定める退学は、次の各号の一に該当する者に科す。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由がなく引続き1年以上欠席した者

(4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 懲戒に関する手続きは、別に定める。

第11章 雑則

(改正)

第43条 本学則の改正は、教授会の意見を聴き、大学運営会議の議を経て、理事会において決定する。

附 則

1 本学則は、昭和35年4月1日から施行する。

附 則（昭和38年4月1日）

1 本学則は、昭和38年4月1日から施行する。

附 則（昭和39年7月1日）

1 本学則は、昭和39年7月1日から施行する。

附 則（昭和40年4月1日）

1 本学則は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則（昭和41年4月1日）

1 本学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則（昭和42年4月1日）

1 本学則は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則（昭和46年4月1日）

1 本学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（昭和46年9月1日）

1 本学則は、昭和46年9月1日から施行する。

附 則（昭和55年4月1日）

1 本学則は、昭和55年4月1日から施行する。

ただし、昭和55年3月31日に在籍している者は第5条、第6条、第9条第1項、第25条及び第28条の規定にかかわらず従前の例によるものとする。尚、従前の学則上学士試験とあるものは卒業論文と読み替え、単位は2単位とする。

附 則（昭和55年9月1日）

1 本学則は、昭和55年9月1日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日）

1 本学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年4月1日）

1 本学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年4月1日）

1 本学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年4月1日）

1 本学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成2年4月1日）

1 本学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成3年4月1日）

1 本学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則（平成3年12月1日）

1 本学則は、平成3年12月1日から施行する。

附 則（平成4年4月1日）

1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成5年4月1日）

1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成6年4月1日）

1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。

2 第6条及び第28条の2の規定は、平成6年3月31日現在の在籍者にも適用する。

附 則（平成 7 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 7 条の規定は、平成 7 年 3 月 31 日現在の在籍者にも適用する。

附 則（平成 8 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 9 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 10 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 11 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 12 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 14 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 15 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 16 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、平成 18 年 3 月 31 日に在籍している者には、入学時の学則を適用する。

附 則（平成 19 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、平成 21 年 3 月 31 日に在籍している者には、入学時の学則を適用する。

附 則（平成 22 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年 4 月 1 日）

- 1 本学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 4 月 1 日）

本学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 4 月 1 日）

本学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 4 月 1 日改正）

本学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年 4 月 1 日改正）

本学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 2 年 4 月 1 日改正）

本学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、令和 2 年 3 月 31 日に在籍している者には、入学時の学則を適用する。

附 則（令和 3 年 5 月 22 日改正）

- 1 本学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 条第 1 項の規定にかかわらず、令和 4 年度から令和 6 年度までの薬学部生命薬科学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
入学定員	30名	30名	30名
収容定員	150名	140名	130名

附 則（令和 3 年 10 月 21 日改正）

- 1 本学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 31 条第 2 項の規定は、令和 4 年 3 月 31 日現在の在籍者にも適用する。

附 則（令和 5 年 7 月 27 日改正）

本学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、令和 6 年 3 月 31 日に在籍している者には、入学時の学則を適用する。

附 則（令和 5 年 10 月 19 日改正）

本学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、令和 6 年 3 月 31 日に在籍している者には、入学時の学則を適用する。

附 則（令和 7 年 2 月 20 日改正）

- 1 本学則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 条第 1 項の規定にかかわらず、令和 8 年度から令和 13 年度までの薬学部薬学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
入学定員	280名	280名	280名	280名	280名	280名
収容定員	1780名	1760名	1740名	1720名	1700名	1680名

別表 1－1

別表 1－2

別表 1－3

別表 2－1

別表 2－2

別表 1 - 1

医学部医学科カリキュラム配当表（6年制）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単 位 数	択 必 の 修 別 選	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		卒業要件
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎 教 養 科 目	倫理学	1 前	1	必	1												
	心の科学	1 前	1	必	1												
	社会学	1 前	1	必	1												
	東北を学ぶⅠ	1 前	1	必	1												
	東北を学ぶⅡ	1 後	1	必		1											
	東北を学ぶⅢ	1 後	0.5	必		0.5											
	文章表現と討議	1 前	1	必	1												
	スポーツ科学（体育実技）	1 前	1	必	1												
	哲学	1 後	1	選必		1											5 単位以上 選択必修 外国語のⅡ を選択する 場合は、必 ずⅠを履修 しているこ と
	経済学	1 後	1	選必		1											
	法学	1 後	1	選必		1											
	からだと健康	1 後	1	選必		1											
	地域支援論	1 後	1	選必		1											
	文学	1 後	1	選必		1											
	ドイツ語Ⅰ	1 前	1	選必	1												
	ドイツ語Ⅱ	1 後	1	選必		1											
	フランス語Ⅰ	1 前	1	選必	1												
	フランス語Ⅱ	1 後	1	選必		1											
	中国語Ⅰ	1 前	1	選必	1												

準備教育科目	中国語Ⅱ	1 後	1	選必		1											
	数学Ⅰ	1 前	1	必	1												
	数学Ⅱ	1 後	1	必		1											
	医学英語Ⅰ	1 前	1	必	1												
	医学英語Ⅱ	1 後	1	必		1											
	医学英語Ⅲ	2 前	1	必			1										
	医学英語Ⅳ	2 後	1	必				1									
	医学英語論文	2 後	1	必				1									
	小計（27科目）	—	26.5	—	11	12.5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生命科学Ⅰ	1 前	1	必	1												
	生命科学Ⅱ	1 前	1	必	1												
	生命科学Ⅲ	1 前	1	必	1												
	情報科学	1 前	1.5	必	1.5												
	行動心理学	1 前	1	必	1												
	生命科学実習Ⅰ	1 前	0.5	必	0.5												
	生命科学実習Ⅱ	1 前	0.5	必	0.5												
	生命科学実習Ⅲ	1 前	0.5	必	0.5												
	科学ライティング演習	1 後	0.5	必		0.5											
	漢方医学概論	2 前	1	選			1										
	計算構造化学	2 後	1	選				1									
	臨床漢方学	2 後	1	選				1									
	医薬品開発	2 後	1	選				1									
	小計（13科目）	—	11.5	—	7	0.5	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	

行動科学	医学概論	1 前	0.5	必	0.5												
	医療安全・医療倫理学	1 後	0.5	必		0.5											
	医療コミュニケーション学	1 後	1	必		1											
	患者安全学	4 前	1	必							1						
	ハンディキャップ体験演習	1 前	0.5	必	0.5												
	早期臨床医学体験学習	1 後	1	必		1											
	小計（6科目）	—	4.5	—	1	2.5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
社会医学	衛生学	1 後	1	必		1											
	地域・介護・在宅医療学	2 後	1.5	必				1.5									
	公衆衛生学	2 後	1	必				1									
	疫学・医学統計学	2 後	1	必				1									
	医事法学	3 前	1	必					1								
	医療管理学	4 前	1	必							1						
	法医学	4 前	1	必							1						
	医療情報学	4 前	0.5	必							0.5						
	衛生学・公衆衛生学・疫学体験学習	2 後	1	必				1									
	地域病院体験学習	2 前	0.5	必			0.5										
	地域診療所体験学習	3 前	0.5	必					0.5								
	地域介護サービス体験学習	2 後	1	必				1									
	小計（12科目）	—	11	—	0	1	0.5	5.5	1.5	0	2.5	0	0	0	0	0	
	細胞生物学	1 後	1	必		1											
	医化学	1 後	2	必		2											

基礎医学	免疫学	2 後	1.5	必				1.5									
	放射線基礎医学	1 後	1	必		1											
	系統解剖学	1 後	1	必		1											
	局所解剖学	2 前	2	必			2										
	神経解剖学	1 後	1	必		1											
	組織学	2 前	1.5	必			1.5										
	発生学	2 後	1.5	必				1.5									
	微生物学Ⅰ	2 前	1	必			1										
	微生物学Ⅱ	2 前	1	必			1										
	生理学	2 前	3	必			3										
	神経生理学	2 後	1.5	必				1.5									
	薬理学	2 後	2.5	必				2.5									
	病理学Ⅰ	2 後	1	必				1									
	病理学Ⅱ	3 前	1	必					1								
	免疫学実習	2 後	0.5	必				0.5									
	医化学実習	1 後	1	必		1											
	解剖学実習	2 前	5	必			5										
	微生物学実習	2 前	0.5	必			0.5										
	組織学実習	2 前	1.5	必			1.5										
	薬理学実習	2 後	0.5	必				0.5									
	生理学実習	2 後	0.5	必				0.5									
	神経生理学実習	2 後	0.5	必				0.5									

	病理学実習Ⅰ	2 後	0.5	必				0.5								
	病理学実習Ⅱ	3 前	0.5	必					0.5							
	小計 (26科目)	—	34.5	—	0	7	15.5	10.5	1.5	0	0	0	0	0	0	
臨床医学	呼吸器学 (内科・外科)	3 後	3	必						3						
	腎・泌尿器学	3 後	2	必						2						
	循環器学 (内科・外科)	3 前	3	必					3							
	消化器学 (内科・外科)	3 前	3	必					3							
	神経学 (内科・外科)	3 前	3	必					3							
	精神科学	3 前	1	必					1							
	内分泌学・代謝学	3 前	2	必					2							
	産科学・婦人科学	3 前	2	必					2							
	小児科学	3 前	2	必					2							
	整形外科科学	3 前	1.5	必					1.5							
	栄養・リハビリテーション学	4 前	1	必							1					
	麻酔科学	3 前	0.5	必					0.5							
	臨床免疫・アレルギー学	3 後	1	必						1						
	血液学	3 後	2	必						2						
	皮膚科学	3 後	0.5	必						0.5						
	眼科学	3 後	1	必						1						
	耳鼻咽喉科学	3 後	1	必						1						
	放射線医学	3 後	1.5	必						1.5						
	救急・災害医療学	3 後	1	必						1						

		乳房外科学	3 後	1	必						1						
		臨床検査学	3 後	1	必						1						
		感染症・感染制御学	4 前	1.5	必							1.5					
		臨床薬理学	4 前	1.5	必							1.5					
		腫瘍学	4 前	1	必							1					
		高齢者医学	4 前	1	必							1					
		救急・災害医療体験学習	3 後	1	必						1						
		臨床分子遺伝学	4 前	1	必							1					
		医療薬学概論	4 前	1	必							1					
		小計 (28科目)	—	42	—	0	0	0	0	18	16	8	0	0	0	0	0
前 臨 床 実 習	病態学演習Ⅰ	2 後	1	必				1									
	病態学演習Ⅱ	3 前	2	必					2								
	課題研究	3 通	4	必						4							
	症候学	4 前	4	必							4						
	基礎—臨床統合演習	4 前	3.5	必								3.5					
	基本的診療技能	4 前	1	必								1					
	小計 (6 科目)	—	15.5	—	0	0	0	1	2	4	8.5	0	0	0	0	0	
臨 床 実 習	総合診療学演習	6 前	6	必											6		
	診療科臨床実習	4 後～5 後	64	必										64			
	地域・総括医療実習	6 前	8	必											8		
	小計 (3 科目)	—	78	—										64	14		

講義統括	統括講義Ⅰ	6 前	3.5	必											3.5		
	統括講義Ⅱ	6 後	4	必												4	
	小計（2科目）	—	7.5	—											3.5	4	
合計（119科目）		—	231	—	19	23.5	18	22	23	20	20	0	0	64	17.5	4	

	基礎教養 科目	準備教育 科目	行動科学	社会医学	基礎医学	臨床医学	前臨床実習	臨床実習	統括講義	合 計
卒業要件	19.5単位以上	7.5単位以上	4.5単位	11単位	34.5単位	42単位	15.5単位	78単位	7.5単位	220単位以上

別表 1－2

薬学科カリキュラム配当表（6年制）

	科目	単位数	必修・ 選択の 別	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		卒業要件
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	哲 学	1	必	1												
	数 学	1	必	1												
	地域の医療・福祉・生活Ⅰ	1	必	1												
	地域の医療・福祉・生活Ⅱ	1	必		1											
	地域の医療・福祉・生活Ⅲ	0.5	必		0.5											
	英 語 Ⅰ	1	必	1												
	英 語 Ⅱ	1	必		1											
	英 会 話 Ⅰ	1	必			1										
	英 会 話 Ⅱ	1	必				1									
	薬 学 英 語	1	必						1							
	論文作成演習	0.5	必										0.5			
	ド イ ツ 語 Ⅰ	1	選必	1												※1
	ド イ ツ 語 Ⅱ	1	選必		1											
	フ ラ ン ス 語 Ⅰ	1	選必	1												
	フ ラ ン ス 語 Ⅱ	1	選必		1											
	中 国 語 Ⅰ	1	選必	1												
	中 国 語 Ⅱ	1	選必		1											
	健康スポーツ（実技）	1	選必	1												

総合科目	社会科学部	法 学 I	1	選必		1											※2
		法 学 II	1	選必			1										
		異 文 化 理 解 入 門	1	選必				1									
		経 済 学	1	選必				1									
		科 学 論 文 精 読	1	選必							1						※3
		小 計 (23科目)	22		8	6.5	2	3	0	1	0	1	0	0.5	0	0	
	社会薬学科目	コミュニケーション基礎論 I	1	必	1												
		コミュニケーション基礎論 II	1	必		1											
		薬 学 入 門 演 習	0.5	必	0.5												
		心 理 学 I	1	必			1										
		心 理 学 II	1	必				1									
		医 療 倫 理 と 患 者 心 理	1	必						1							
		医療コミュニケーション論	1	必						1							
		情 報 科 学 I	1	必	1												
		情 報 科 学 II	1	必		1											
		薬 学 概 論	1	必	1												
		医 療 倫 理 学	1	必		1											
		統 計 学	1	必		1											
		統 計 学 演 習	0.5	必		0.5											
		薬 と 薬 剤 師 の 未 来 学	1	必									1				
		薬 事 関 連 法 規 I	1	必						1							

	薬事関連法規Ⅱ	1	必								1					
	医療情報学	1	必							1						
	医薬品開発	1	必								1					
	医療統計学	1	必								1					
	医療経済学	1	必											1		
	健康科学	1	選必		1											※2
	医療社会学	1	選必			1										
	医薬ステップアッププレゼンテーション	0.5	選必			0.5										
	医療統計学演習	0.5	選必								0.5					※3
	薬局経営論	1	選必											1		
	小計(25科目)	23		3.5	5.5	2.5	1	0	0	4	3.5	0	1	2	0	
	化学入門	1	必	1												
	薬学基礎化学Ⅰ	1	必	1												
	薬学基礎化学Ⅱ	1	必	1												
	有機化学Ⅰ	1	必		1											
	有機化学Ⅱ	1	必			1										
	有機化学Ⅲ	1	必				1									
	生薬学	1	必				1									
	漢方薬学	1	必					1								
	生体有機化学	1	必					1								
	メディシナルケミストリーⅠ	1	必						1							

基礎薬学 科目	メディシナルケミストリーⅡ	1	必							1						
	物 理 学 入 門	1	必	1												
	物 理 学	1	必		1											
	物 理 化 学 Ⅰ	1	必		1											
	物 理 化 学 Ⅱ	1	必			1										
	物 理 化 学 Ⅲ	1	必				1									
	物 理 化 学 演 習	1	必					1								
	放 射 薬 学	1	必					1								
	分 析 化 学 Ⅰ	1	必			1										
	分 析 化 学 Ⅱ	1	必				1									
	機 器 分 析 学 Ⅰ	1	必			1										
	機 器 分 析 学 Ⅱ	1	必				1									
	分 子 構 造 解 析 学	1	必					1								
	臨 床 分 析 化 学	1	必						1							
	生 物 学 入 門	1	必	1												
	生 物 学	1	必	1												
	ヒ ト の か ら だ	1	必	1												
	生 化 学 Ⅰ	1	必		1											
	生 化 学 Ⅱ	1	必			1										
	生 化 学 Ⅲ	1	必				1									
	人 体 生 理 学 Ⅰ	1	必		1											

	人 体 生 理 学 II	1	必			1										
	人 体 生 理 学 III	1	必				1									
	遺 伝 子 工 学	1	必				1									
	解 剖 生 理 学 演 習	0.5	必					0.5								
	生 理 学 ・ 生 化 学 演 習	1	必					1								
	基 礎 薬 学 演 習 I	1	必		1											
	基 礎 薬 学 演 習 II	1	必			1										
	基 礎 薬 学 演 習 III	1	必							1						
	基 礎 薬 学 セ ル フ ラ ー ニ ン グ	1	必								1					
	薬 学 複 合 演 習	2	必										2			
	生 体 無 機 化 学	1	選必			1										※ 4
	デ ー タ サ イ エ ン ス	1	選必				1									
	最 新 生 命 科 学	1	選必						1							
	臨 床 漢 方 医 学	1	選必						1							
	生 体 分 子 化 学	1	選必								1					
	天 然 物 化 学	1	選必								1					
	臨 床 医 薬 品 化 学	1	選必								1					
	小 計 (48科目)	48.5		7	6	8	9	6.5	4	2	4	0	2	0	0	
	薬 理 学 I	1	必			1										
	薬 理 学 II	1	必				1									
	薬 理 学 III	1	必					1								

専門科目	医療薬学科目	薬理学Ⅳ	1	必						1							
		薬理学Ⅴ	1	必							1						
		細胞と医療	1	必								1					
		病理学概論	1	必			1										
		病態解析学Ⅰ	1	必					1								
		病態解析学Ⅱ	1	必					1								
		病態解析学Ⅲ	1	必						1							
		病態解析学Ⅳ	1	必						1							
		臨床検査学Ⅰ	1	必					1								
		臨床検査学Ⅱ	1	必						1							
		医薬品情報学	1	必					1								
		疾患と薬物治療Ⅰ	1	必						1							
		疾患と薬物治療Ⅱ	1	必						1							
		疾患と薬物治療Ⅲ	1	必							1						
		疾患と薬物治療Ⅳ	1	必							1						
		疾患と薬物治療Ⅴ	1	必								1					
		セルフケアと地域医療	1	必							1						
		医薬品副作用学	1	必								1					
		薬物動態学Ⅰ	1	必					1								
		薬物動態学Ⅱ	1	必						1							
		製剤化の科学	1	必					1								

衛生薬学科目	製 剤 化 と 製 剤	1	必						1							
	調 剤 学	1	必							1						
	薬理・薬物治療学セルフラーニング	1	必								1					
	薬 剤 学 セ ル フ ラ ー ニ ン グ	1	必								1					
	小 計（28科目）	28		0	0	2	1	7	8	5	5	0	0	0	0	
	病 原 微 生 物 学	1	必				1									
	免 疫 学	1	必				1									
	感 染 制 御 学	1	必						1							
	感 染 症 治 療 薬 学	1	必							1						
	環 境 毒 性 学	1	必					1								
	食 品 衛 生 ・ 栄 養 学	1	必					1								
	環 境 衛 生 学	1	必						1							
	公 衆 衛 生 学	1	必							1						
	衛生・社会薬学セルフラーニング	1	必								1					
	小 計（9科目）	9		0	0	0	2	2	2	2	1	0	0	0	0	
	地 域 医 療 薬 学	1	必					1								
	処 方 解 析 基 礎 演 習	1	必						1							
	医 療 安 全 管 理 学	1	必							1						
	臨 床 薬 学 概 論	1	必							1						
	薬 物 投 与 設 計 実 践 論	1	必							1						
	地 域 医 療 薬 学 演 習	1	必								1					

臨床薬学科目	認定・専門薬剤師概論	0.5	必								0.5					
	地域の救急・災害医療	0.5	必								0.5					
	薬効・副作用評価実践論	1	必								1					
	臨床総合演習	2	必										2			
	薬学総合演習	8	必												8	
	医療マネジメント実践論	0.5	選必								0.5					※4
	キャリアデザイン論	0.5	選必											0.5		
	病院薬剤師体験学習	0.5	選						0.5							
	健康教育実践論	0.5	選								0.5					
	チーム医療臨床演習	0.5	選											0.5		
	小計(16科目)	20.5		0	0	0	0	1	1.5	3	4	0	2	1	8	
実習科目	生薬学実習	0.5	必	0.5												
	生物学実習	0.5	必		0.5											
	有機化学実習	1	必			1										
	生化学実習	1	必			1										
	物理化学・分析学実習	1	必				1									
	天然物化学実習	0.5	必				0.5									
	病理・病態学実習	1	必					1								
	微生物学実習	0.5	必					0.5								
	薬理学実習	1	必						1							
	R I 実習	0.5	必						0.5							

	薬 剤 学 実 習	1	必							1						
	衛 生 化 学 実 習	1	必							1						
	前 臨 床 実 習 I	0.5	必							0.5						
	前 臨 床 実 習 II	2	必								2					
	臨 床 実 習 I （ 薬 局 ）	10	必									10				
	臨 床 実 習 II （ 病 院 ）	10	必									10				
	小計（16科目）	32		0.5	0.5	2	1.5	1.5	1.5	2.5	2	0	20	0	0	
卒業研究	卒 業 研 究	14	必									14				
	小計（1科目）	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	
	合計（166科目）	197		19	18.5	16.5	17.5	18	18	18.5	20.5	0	25.5	17	8	

	総合科目 必修単位	総合科目 (語学) 選択必修単位 ※ 1	総合科目 選択必修単位 ※ 2、※ 3	専門科目 必修単位	専門科目 選択必修単位 ※ 4	専門科目 (実習科目) 必修単位	専門科目 (卒業研究) 必修単位	合計
卒業要件	29	2	7	96.5	5.5	32	14	186

- ※ 1 「ドイツ語Ⅰ」、「フランス語Ⅰ」、「中国語Ⅰ」の中から1単位以上選択必修、「ドイツ語Ⅱ」、「フランス語Ⅱ」、「中国語Ⅱ」の中から1単位以上選択必修 ※同一言語2単位以上
- ※ 2 1～2年次配当の8科目7.5単位中6単位以上選択必修
- ※ 3 4～6年次配当の3科目2.5単位中1単位以上選択必修
- ※ 4 2～6年次配当の9科目8単位中5.5単位以上選択必修

別表 1－3

生命薬科学科カリキュラム配当表（4年制）

	科目	単位数	必修・ 選択の 別	1 年			2 年		3 年		4 年		卒業要件
				前期	後期	通年	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	【総合教育】												
	哲 学	1	選必	1									14 単 位 以 上 選 択 必 修
	医 療 倫 理 学	1	選必		1								
	心 理 学 I	1	選必	1									
	心 理 学 II	1	選必		1								
	文 章 の 表 現 I	1	選必	1									
	文 章 の 表 現 II	1	選必		1								
	異 文 化 理 解 入 門	1	選必					1					
	地 域 社 会 論	1	選必					1					
	法 学 I	1	選必		1								
	法 学 II	1	選必				1						
	医 療 社 会 学	1	選必				1						
	生 物 学 演 習	0.5	選必	0.5									
	物 理 学 演 習 I	0.5	選必	0.5									
	数 学 演 習	0.5	選必		0.5								
	物 理 学 演 習 II	0.5	選必		0.5								
	化 学 演 習	1	選必	1									

健康スポーツ（実技）	1	選必	1									
健康科学	1	選必		1								
情報科学Ⅰ	1	選必	1									
キャリア支援講座	1	選必					1					
大学基礎論	1	必	1									
基礎科学	1	必	1									
薬科学概論	1	必	1									
数学Ⅰ	1	必	1									
数学Ⅱ	1	必		1								
物理学Ⅰ	1	必	1									
物理学Ⅱ	1	必		1								
生物学	1	必	1									
化学	1	必	1									
情報科学Ⅱ	1	必		1								
情報科学Ⅲ	1	必				1						
英語Ⅰ	1	必	1									
英語Ⅱ	1	必		1								
英会話Ⅰ	1	必	1									
英会話Ⅱ	1	必		1								
ドイツ語Ⅰ	1	選必	1									①「ドイツ語Ⅰ」、 「フランス語Ⅰ」、 「中国語Ⅰ」の中 から1単位以
ドイツ語Ⅱ	1	選必		1								

	フ ラ ン ス 語 I	1	選必	1									上選択必修 ②「ドイツ語Ⅱ」、 「フランス語Ⅱ」、 「中国語Ⅱ」の中 から1単位以上選 択必修 ※同一言語2単位 以上
	フ ラ ン ス 語 II	1	選必		1								
	中 国 語 I	1	選必	1									
	中 国 語 II	1	選必		1								
	物 質 科 学 論 文 講 読	1	必				1						
	生 命 科 学 論 文 講 読	1	必					1					
	英 文 論 文 講 読	1	必							1			
	キ ャ リ ア 開 発 講 座	1	必		1								
	計	43		19	15	0	4	4		1			
基 礎 薬 学 (化学系薬学 を学ぶ)	【薬学専門教育】												
	原 子 と 分 子 の 構 造	1	必	1									
	無 機 化 学	1	必	1									
	有 機 構 造 化 学	1	必		1								
	有 機 反 応 化 学 I	1	必				1						
	有 機 反 応 化 学 II	1	必					1					
	分 析 化 学 I	1	必		1								
	分 析 化 学 II	1	必				1						
	機 器 分 析 学	1	必					1					
	化 学 熱 力 学	1	必		1								
	化 学 反 応 速 度 論	1	必				1						
	生 薬 学 I	1	必				1						

基礎薬学 (生物系薬学を学ぶ)	生 薬 学 II	1	必					1					
	有 機 反 応 化 学 III	1	必						1				
	有 機 反 応 化 学 IV	1	必							1			
	臨 床 分 析 化 学	1	必							1			
	生 理 学 I	1	必		1								
	生 理 学 II	1	必				1						
	生 理 学 III	1	必					1					
	生 化 学 I	1	必		1								
	生 化 学 II	1	必		1								
	生 化 学 III	1	必				1						
	生 命 科 学 概 論	1	必		1								
	栄 養 化 学	1	必						1				
	衛 生 化 学	1	必					1					
	病 原 微 生 物 学 I	1	必					1					
	免 疫 学	1	必					1					
	分 子 遺 伝 学	1	必				1						
	遺 伝 子 工 学	1	必						1				
	中 毒 学	1	必						1				
	生 物 統 計 学	1	必						1				
	薬 理 学 I	1	必				1						
	薬 理 学 II	1	必					1					

医 療 薬 学 (薬と疾病を 学ぶ)	薬 理 学 III	1	必						1				
	薬 理 学 IV	1	必						1				
	薬 理 学 V	1	必							1			
	薬 物 動 態 学 I	1	必						1				
	薬 物 動 態 学 II	1	必							1			
	製 剤 工 学 概 論	1	必						1				
	製 剤 学	1	必							1			
	疾 病 と 治 療 I	1	必						1				
	疾 病 と 治 療 II	1	必							1			
	薬 品 毒 性 学	1	必							1			
	薬 物 管 理 概 論	1	必							1			
法制度を学ぶ	薬 事 関 連 法 規	1	必								1		
専門選択科目 (化学系)	物 理 化 学 演 習	1	選必				1						
	有 機 化 学 演 習	1	選必				1						
	生 体 分 子 構 造 学	1	選必					1					
	アドバンス有機化学	1	選必						1				
	放 射 化 学	1	選必					1					
	薬 品 資 源 学	1	選必						1				
	医 薬 品 試 験 法	1	選必						1				
	医 薬 品 分 子 設 計 学	1	選必							1			
	分 子 医 薬 化 学	1	選必							1			

専門選択科目 (生物系)	医薬品開発概論	1	選必							1			19単位以上選択 必修
	コンピューター化学	1	選必								1		
	最新天然物化学	1	選必								1		
	化粧品学	1	選必								1		
	酵素生物学	1	選必					1					
	細胞工学概論	1	選必				1						
	分子細胞生物学	1	選必					1					
	実験動物学	1	選必				1						
	細胞情報学	1	選必						1				
	環境衛生学	1	選必						1				
	病原微生物学Ⅱ	1	選必						1				
	最新生命科学	1	選必							1			
	臨床検査学概論	1	選必							1			
	ゲノム情報学	1	選必							1			
	公衆衛生学	1	選必								1		
	分子標的薬概論	1	選必								1		
	放射線生物学	1	選必								1		
	医療倫理入門	1	選必						1				
選択科目	インターンシップ	1	選必						1				
	計	72		2	7		12	12	18	14	7		
実習	基礎生物学実習	1	必		1								

	基礎化学実習	1	必		1								
	衛生系実習	1	必				1						
	有機化学系実習	1	必				1						
	薬品合成・天然物系実習	1	必					1					
	物理化学・分析系実習	0.5	必					0.5					
	微生物学系実習	0.5	必					0.5					
	薬理学系実習	1	必						1				
	分子生物学系実習	1	必						1				
	計	8			2		2	2	2				
薬学の研究を行う	卒業研究	18	必							18			
	計	18										18	
	合計	141		21	24	0	18	18	20	15	7	18	

	総合教育 科目単位	総合教育 選択必修 科目単位	語学選択 必修科目 単位	専門必修 科目単位	専門選択 必修科目 単位	専門実習 科目単位	卒業研究	合 計
卒業要件	19	14	2	44	19	8	18	124

別表 2－1

医 学 部 納 付 金 一 覧

(単位：円)

	新入学生	委託研究生	科目等履修生	研究生
入学検定料 (一般選抜)	60,000	_____	_____	_____
入学検定料 (大学入学共通テスト利用選抜)	35,000	_____	_____	_____
入学金	1,000,000	_____	_____	_____
施設設備費	1,000,000	_____	_____	_____
授業料	3,000,000	_____	_____	_____
教育充実費	1,500,000	_____	_____	_____

在籍料

(単位：円)

	金 額
休学者の在籍料	750,000 (半期)

別表 2 - 2

薬 学 部 納 付 金 一 覧

(単位：円)

	新入学生	編入学生	委託研究生	科目等履修生	研究生
入学検定料	35,000 ※ (17,000)	35,000	—	—	—
入学金	(薬学科) 400,000 (生命薬科学科) 350,000	(薬学科) 400,000 (生命薬科学科) 350,000	10,000	10,000	10,000
施設設備費	(薬学科) 525,000 (生命薬科学科) 350,000	(薬学科) 525,000 (生命薬科学科) 350,000	—	—	—
授業料	(薬学科) 1,300,000 (生命薬科学科) 1,080,000	(薬学科) 1,300,000 (生命薬科学科) 1,080,000	月額 99,000	1 単位当 20,000	1,188,000 月額 (99,000)

※は大学入学共通テスト利用入試受験者の検定料

在籍料

(単位：円)

	金 額
休学者の在籍料	180,000 (半期)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

学則第2条（組織・収容定員）の薬学部薬学科の入学定員を「300名」を「280名」に、収容定員「1800名」を「1680名」に変更する。

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

薬学部薬学科は薬剤師養成に係る薬学科が6年制となった平成18年4月に定員300名となり、以降入学定員については常にこれを満たしている。その一方で、下表に示したように、少子化に伴う受験人口の減少により志願者数は減少の一途をたどっている。入学者選抜は、アドミッション・ポリシーに従い、学校推薦型選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜により受験機会の多様性を持たせた上で実施をしてきたが、志願者の減少には歯止めがかかっていない状況である。薬学科が6年制となる以前では、広く関東、北陸、東海などの地域からも当学科を志願する者も存在していたが、薬学部設置大学数の急激な増加により、これらの地域からの志願者数は大幅に減少し、現在の本学志願者の居住地域は、宮城県を中心とした東北地方に集中している。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入学定員	300名	300名	300名	300名	300名
志願者数	965名	930名	862名	720名	643名
入学者数	321名	306名	321名	302名	302名
総定員数	1800名	1800名	1800名	1800名	1800名
総定員充足率	104.6%	105.6%	105.0%	102.5%	98.9%
休学者数	12名	21名	21名	31名	
退学者数	14名	38名	53名	64名	
留年者数	57名	157名	194名	180名	

この十分な志願者数を確保できていない現状では、たとえ入学定員を満たしている状況であっても、入学者の学力は当学科のディプロマ・ポリシーを達成するために必要な水準に達しているとは言い難い。実際、令和3年度以降、留年者数、休退学者数が大幅に増加し、特に退学者数の増加は、令和6年度以降の総定員数の未充足に繋がっている。また、受験人口については今後も減少が続き、これまでの志願者の主な居住地域である東北地方においては、関東圏や関西圏などに比べ受験人口の減少スピードが速く、今後の志願者数の回復を見込むことは極めて困難なものと予想される。

そこで、入学者の質の維持・向上の観点から、適正な定員設定を図ることとし、令和8年度より薬学科の入学定員及び収容定員を上記アのとおり変更する。

ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

入学定員及び収容定員を変更（削減）したのちには、現行の教育課程及び教員組織に変更はない。その結果、教員一人当たりの学生数の減少が見込まれるため、よりきめ細かい教育が実現可能となる。

教 育 課 程 等 の 概 要																
（薬学部薬学科）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
総合科目	教養科目	哲学	1前	○	1		○			1						
	数学	1前	○	1			○								1	
	地域の医療・福祉・生活Ⅰ	1前	○	1			○			1					11	オムニバス・共同 （一部）
	地域の医療・福祉・生活Ⅱ	1後	○	1			○								1	
	地域の医療・福祉・生活Ⅲ	1後	○	0.5				○		1					9	オムニバス
	英語Ⅰ	1前	○	1			○								2	共同
	英語Ⅱ	1後	○	1			○								2	共同
	英会話Ⅰ	2前	○	1			○								2	共同
	英会話Ⅱ	2後	○	1			○								2	共同
	薬学英语	3後	○	1			○								2	オムニバス
	論文作成演習	5後	○	0.5			○								2	オムニバス
	ドイツ語Ⅰ	1前			1		○								1	
	ドイツ語Ⅱ	1後			1		○								1	
	フランス語Ⅰ	1前			1		○								1	
	フランス語Ⅱ	1後			1		○								1	
	中国語Ⅰ	1前			1		○								1	
	中国語Ⅱ	1後			1		○								1	
	健康スポーツ（実技）	1前			1				○						3	共同
	法学Ⅰ	1後			1		○								1	
	法学Ⅱ	2前			1		○								1	
	異文化理解入門	2後			1		○								1	
	経済学	2後			1		○								1	
	科学論文精読	4後			1		○					1			1	オムニバス
	小計（23科目）	—	—	10	12	0	—	—	—	1	0	1	0	0	20	
社会薬学科目	コミュニケーション基礎論Ⅰ	1前	○	1			○								2	共同
	コミュニケーション基礎論Ⅱ	1後	○	1			○								2	共同
	薬学入門演習	1前	○	0.5				○		1			1		9	オムニバス
	心理学Ⅰ	2前	○	1			○								1	
	心理学Ⅱ	2後	○	1			○								2	共同
	医療倫理と患者心理	4前	○	1			○			1					8	オムニバス
	医療コミュニケーション論	4前	○	1			○				1					
	情報科学Ⅰ	1前	○	1					○		1		1		1	共同
	情報科学Ⅱ	1後	○	1					○		1		1		1	共同
	薬学概論	1前	○	1			○			9					7	オムニバス・共同 （一部）
	医療倫理学	1後	○	1			○			1						
	統計学	1後	○	1			○								1	
	統計学演習	1後	○	0.5				○							2	共同
	薬と薬剤師の未来学	5後	○	1			○			1					1	オムニバス
	薬事関連法規Ⅰ	4前	○	1			○								1	
	薬事関連法規Ⅱ	4後	○	1			○								1	
	医療情報学	4前	○	1			○				1				1	共同
	医薬品開発	4後	○	1			○								1	
	医療統計学	4後	○	1			○								4	オムニバス
	医療経済学	6前	○	1			○								1	
	健康科学	1後			1		○								2	共同
	医療社会学	2前			1		○								1	
	医薬ステップアッププレゼンテーション	2前			0.5			○			1		1		1	共同
	医療統計学演習	4後			0.5			○							2	オムニバス
	薬局経営論	6前			1		○			1					1	オムニバス
	小計（25科目）	—	—	19	4		—	—	—	11	1	1	2	0	41	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
専門科目 基礎薬学 科目	化学入門	1前	○	1			○								1	
	薬学基礎化学Ⅰ	1前	○	1			○			1						
	薬学基礎化学Ⅱ	1前	○	1			○			1						
	有機化学Ⅰ	1後	○	1			○								1	
	有機化学Ⅱ	2前	○	1			○								1	
	有機化学Ⅲ	2後	○	1			○								1	
	生薬学	2後	○	1			○								1	
	漢方医薬学	3前	○	1			○			1						
	生体有機化学	3前	○	1			○								1	
	メディシナルケミストリーⅠ	3後	○	1			○								1	
	メディシナルケミストリーⅡ	4前	○	1			○								1	
	物理学入門	1前	○	1			○			1						
	物理学	1後	○	1			○			1						
	物理化学Ⅰ	1後	○	1			○								1	
	物理化学Ⅱ	2前	○	1			○								1	
	物理化学Ⅲ	2後	○	1			○								1	
	物理化学演習	3前	○	1			○								1	
	放射薬品	3前	○	1			○			1						
	分析化学Ⅰ	2前	○	1			○			1						
	分析化学Ⅱ	2後	○	1			○				1					
	機器分析学Ⅰ	2前	○	1			○								1	
	機器分析学Ⅱ	2後	○	1			○			1						
	分子構造解析学	3前	○	1			○			1						
	臨床分析化学	3後	○	1			○			1						
	生物学入門	1前	○	1			○								2	オムニバス
	生物学	1前	○	1			○								1	
	ヒトのからだ	1前	○	1			○								1	
	生化学Ⅰ	1後	○	1			○								1	
	生化学Ⅱ	2前	○	1			○								1	
	生化学Ⅲ	2後	○	1			○								1	
	人体生理学Ⅰ	1後	○	1			○			1						
	人体生理学Ⅱ	2前	○	1			○					1				
	人体生理学Ⅲ	2後	○	1			○								1	
	遺伝子工学	2後	○	1			○								1	
	解剖生理学演習	3前	○	0.5				○							1	
	生理学・生化学演習	3前	○	1			○								1	
	基礎薬学演習Ⅰ	1後	○	1						2					3	オムニバス
	基礎薬学演習Ⅱ	2前	○	1				○		1					3	オムニバス
	基礎薬学演習Ⅲ	4前	○	1				○		5			1		4	オムニバス
	基礎薬学セルフラーニング	4後	○	1				○		1					2	オムニバス
	薬学複合演習	5後	○	2				○		2					2	共同
	生体無機化学	2前	○		1		○								1	
	データサイエンス	2後	○		1		○								1	
	最新生命科学	3後	○		1		○								2	オムニバス
	臨床漢方医学	3後	○		1		○								1	
	生体分子化学	4後	○		1		○								1	
	天然物化学	4後	○		1		○								1	
	臨床医薬品化学	4後	○		1		○								1	
	小計（48科目）	—	—	41.5	7	0	—	—	—	13	1	1	1	0	25	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員	
医療薬学 科目	薬理学Ⅰ	2前	○	1			○			1					1	オムニバス
	薬理学Ⅱ	2後	○	1			○			1					1	
	薬理学Ⅲ	3前	○	1			○			1						
	薬理学Ⅳ	3後	○	1			○				1					
	薬理学Ⅴ	4前	○	1			○								1	
	細胞と医療	4後	○	1			○								1	
	病理学概論	2前	○	1			○								4	
	病態解析学Ⅰ	3前	○	1			○								1	
	病態解析学Ⅱ	3前	○	1			○			1						
	病態解析学Ⅲ	3後	○	1			○			1					1	
	病態解析学Ⅳ	3後	○	1			○			1						
	臨床検査学Ⅰ	3前	○	1			○			1						
	臨床検査学Ⅱ	3後	○	1			○			1					1	
	医薬品情報学	3前	○	1			○			1		1				オムニバス 共同
	疾患と薬物治療Ⅰ	3後	○	1			○			1						
	疾患と薬物治療Ⅱ	3後	○	1			○						1		1	オムニバス
	疾患と薬物治療Ⅲ	4前	○	1			○				1					
	疾患と薬物治療Ⅳ	4前	○	1			○			1					1	オムニバス
	疾患と薬物治療Ⅴ	4後	○	1			○				1					
	セルフケアと地域医療	4前	○	1			○						1		1	オムニバス
	医薬品副作用学	4後	○	1			○			1						
	薬物動態学Ⅰ	3前	○	1			○			1						オムニバス
	薬物動態学Ⅱ	3後	○	1			○			1						
	製剤化の科学	3前	○	1			○			1						
	製剤化と製剤	3後	○	1			○			1						
	調剤学	4前	○	1			○				1					
	薬理・薬物治療学セルフラーニング	4後	○	1				○		1	1					
	薬剤学セルフラーニング	4後	○	1				○		1						
	小計（28科目）	—	—	28	0	0	—	—	—	10	3	1	2	0	11	
	病原微生物学	2後	○	1			○								1	オムニバス
	免疫学	2後	○	1			○								1	
	感染制御学	3後	○	1			○			1						
	感染症治療薬学	4前	○	1			○			1						
	環境毒性学	3前	○	1						1						
	食品衛生・栄養学	3前	○	1											2	
	環境衛生学	3後	○	1			○								1	
	公衆衛生学	4前	○	1			○				1					
	衛生・社会薬学セルフラーニング	4後	○	1				○							1	
	小計（9科目）	—	—	9	0	0	—	—	—	2	1	0	0	0	4	
臨床薬学 科目	地域医療薬学	3前	○	1			○			1						共同 オムニバス
	処方解析基礎演習	3後	○	1				○		2						
	医療安全管理学	4前	○	1			○			1			2			
	臨床薬学概論	4前	○	1			○				1					1 共同
	薬物投与設計実践論	4前	○	1			○									
	地域医療薬学演習	4後	○	1				○		5	2	2	5			11 オムニバス
	認定・専門薬剤師概論	4後	○	0.5						1	1		1			
	地域の救急・災害医療	4後	○	0.5			○			1					8	オムニバス
	薬効・副作用評価実践論	4後	○	1			○			1			2		1	
	臨床総合演習	5後	○	2				○		5	2	2	5			共同 オムニバス・共同 (一部)
	薬学総合演習	6後	○	8				○		5	1				3	
	医療マネジメント実践論	4後	○		0.5					1					1	オムニバス
	キャリアデザイン論	6前	○		0.5					1					1	
	病院薬剤師体験学習	3後			0.5			○		1	1					共同
	健康教育実践論	4後			0.5			○		1						
	チーム医療臨床演習	6前			0.5			○		1	1					共同
	小計（16科目）	—	—	18	2.5	0	—	—	—	11	3	2	5	0	26	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
実習科目	生薬学実習	1前	○	0.5					○	1		1			1	共同 オムニバス・共同 (一部) 7 共同 6 共同 オムニバス・共同 (一部) 3 共同 4 共同 オムニバス・共同 (一部) 2 共同 2 共同 共同 3 共同 共同 共同
	生物学実習	1後	○	0.5					○	4		1	1	2	15	
	有機化学実習	2前	○	1					○						7	
	生化学実習	2前	○	1					○						6	
	物理化学・分析学実習	2後	○	1					○	1				2	3	
	天然物化学実習	2後	○	0.5					○						3	
	病理・病態学実習	3前	○	1					○	1				1	4	
	微生物学実習	3前	○	0.5					○	2			2	1	1	
	薬理学実習	3後	○	1					○	2	1	2			2	
	RI実習	3後	○	0.5					○	1					2	
	薬剤学実習	4前	○	1					○	5	1	4	3	1		
	衛生化学実習	4前	○	1					○	1			1	1	3	
	前臨床実習Ⅰ	4前	○	0.5					○	7	3	4	5	1		
	前臨床実習Ⅱ	4後	○	2					○	7	3	4	5	1		
	臨床実習Ⅰ（薬局）	5通	○	10					○	5	3	2	5	1		
	臨床実習Ⅱ（病院）	5通	○	10					○	5	3	2	5	1		
小計（16科目）	—	—	32	0	0	—			16	4	7	8	6	32		
卒業研究	5～6前	○	14						23	7	7	9	5	0		
小計（1科目）	—	—	14	0	0	—			23	7	7	9	5	0		
合計（166科目）		—	—	171.5	25.5	0.0	—			23	7	7	9	6	110	
学位又は称号		学士（薬学）		学位又は学科の分野				薬学関係								
卒業・修了要件及び履修方法				授業期間等												
必修科目である総合科目29単位及び専門科目142.5単位（実習科目32単位及び卒業研究14単位含む）に加えて、選択必修科目として14.5単位以上を修得し、186単位以上を修得すること。 なお、選択必修科目の内訳は、以下のとおりとする。 （１）教養科目の選択科目のうち、「ドイツ語Ⅰ」、「フランス語Ⅰ」、「中国語Ⅰ」の中から1単位以上選択必修、「ドイツ語Ⅱ」、「フランス語Ⅱ」、「中国語Ⅱ」の中から1単位以上選択必修（※同一言語2単位以上） （２）教養科目及び社会薬学科目のうち、1～2年次配当の「健康スポーツ(実技)」、「法学Ⅰ」、「法学Ⅱ」、「異文化理解入門」、「経済学」、「健康科学」、「医療社会学」、「医薬ステップアッププレゼンテーション」の8科目7.5単位中、6単位以上選択必修 （３）教養科目及び社会薬学科目のうち、4～6年次配当の「科学論文精読」、「医療統計学演習」、「薬局経営論」の3科目2.5単位中、1単位以上選択必修 （４）基礎薬学科目及び臨床薬学科目のうち、2～6年次配当の「生体無機化学」、「データサイエンス」、「最新生命科学」、「臨床漢方医学」、「生体分子化学」、「天然物化学」、「臨床医薬品化学」、「医療マネジメント実践論」、「キャリアデザイン論」の9科目8単位中、5.5単位以上選択必修				1学年の学期区分				2学期								
				1学期の授業期間				15週								
				1時限の授業の標準時間				70分								

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 収容定員を変更する組織の概要……………	p. 2
①収容定員を変更する組織の概要	
②収容定員を変更する組織の特色	
(2) 人材需要の社会的な動向等……………	p. 2
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	
②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	
④既設組織の定員充足の状況	
(3) 学生確保の見通し……………	p. 2
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	
②競合校の状況分析	
③先行事例分析（該当なし）	
④学生確保に関するアンケート調査（該当なし）	
⑤人材需要に関するアンケート調査等	
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由……………	p. 4

資料1 18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 関係資料

（出典：文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）参考資料集（5／11）」より）

資料2 薬学科卒業生の進路実績（令和3年度～令和5年度卒業生）

資料3 令和6年度 在学生（3年生）出身校都道府県別調べ

（出典：「日本私立薬科大学協会だより」より）

資料4 収容定員の充足状況

資料5 地域支援制度のパンフレット

資料6 【薬学部薬学科】実質競争倍率・収容定員充足率・退学率の推移等

資料7 教務委員会議事録（令和6年度 第2回(R6.5.20)、第3回(R6.6.24)、第6回(R6.9.24)分）

資料8 志願状況等一覧

（出典：文部科学省「薬学部における修学状況等」より）

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要

収容定員を変更する組織	変更前	変更後	所在地
東北医科薬科大学 薬学部薬学科	入学定員 <u>300</u> (編入学定員 <u>0</u>) 収容定員 <u>1,800</u>	入学定員 <u>280</u> (編入学定員 <u>0</u>) 収容定員 <u>1,680</u>	宮城県仙台市青葉区 小松島四丁目4番1号

②収容定員を変更する組織の特色

本学薬学部薬学科（以下「当学科」という。）においては、「医療人としての心豊かな人間性と倫理観を持ち、先進的な薬物療法を探究するとともに疾病の予防・治療及び健康増進に積極的に参画する意識と実践力を備え、地域医療に貢献できる薬剤師の養成」を主たる教育研究目的としている。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析、及び

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

当学科は、平成18年度に入学定員を300名としてから現在（令和6年度）に至るまで、常に入学定員を充足してきた。しかしながら、当学科の志願者数は過去5年間で減少の一途をたどっており、その最大の要因は少子化に伴う主な受験対象となる18歳人口の減少にある。【資料1：18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 関係資料】

当学科が養成する人材の社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な指標である進路決定状況については、平成23年度から令和5年度まで、過去13年連続で進路決定率90%以上の実績を残しており、当学科が養成している薬剤師のニーズについては一定程度維持されているものと考ええる。そのほとんどの学生が薬局・病院などで薬剤師として勤務している。【資料2：薬学科卒業生の進路実績（令和3年度～令和5年度卒業生）】

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

薬剤師養成課程が6年制となる以前では、広く関東、北陸、東海などの地域から当学科を志願する者も存在していたが、その後の薬学部設置大学数の急激な増加により、これらの地域からの志願者数は大幅に減少し、現在の本学志願者の居住地域は、宮城県を中心とした東北地方に集中している。【資料3：令和6年度 在学生(3年生)出身校都道府県別調べ】

④既設組織の定員充足の状況

薬学部生命薬科学科（4年制）及び医学部医学科の定員充足状況については、申請書類として添付している「収容定員の充足状況」のとおりである。【資料4：収容定員の充足状況】

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生確保に向けては、入試相談会や高校訪問等における当学科のPRに加えて、オープンキャンパスをハイブリッド開催とし、その中で単に入試制度に関する説明を行うだけでなく動画の配信を含めたデジタルコンテンツの充実も行った。また、大学自体のPR活動としては、期間限定ではあるがFMラジオで大学独自の番組を持ち、さらに同番組については動画配信も同時に実施するなど積極的な広報活動に努めた。さらに、令和6年度のオープンキャンパスでは、前年度より開催回数を増やすとともに実施方法にも工夫を行い、受験対象者と

保護者が本学をより身近に感じられるようにするとともに、その中で当学科のPRを行っている。また、令和7年度入学者より、少人数ではあるが地域支援制度（対象：宮城県、秋田県）を設け、宮城県と秋田県で病院薬剤師として勤務できる人材に修学資金を貸与し、卒業後に指定された医療機関に薬剤師として一定期間従事することで、貸与金額を全額免除とすることを決定し、令和7年度入学者選抜から対象学生の選抜を行うことを予定している。

【資料5：地域支援制度のパンフレット】

②競合校の状況分析

当学科の志願者の多くが宮城県を中心とする東北地方出身であることから【資料3（再掲）】、東北地方に所在し、薬学部（6年制）を有する私立大学を以下のとおり競合校として選定する。＜表1＞

＜表1. 競合校との比較（所在地・学生納付金・入学定員）＞

大学名	所在地	令和6年度 学生納付金 (6年制薬学部)	令和6年度 入学定員
東北医科薬科大学【本学】	宮城県仙台市	11,350,000円	300名
青森大学	青森県青森市	11,547,000円	50名
岩手医科大学	岩手県紫波郡矢巾町	11,650,000円	50名
医療創生大学	福島県いわき市	11,600,000円	60名
奥羽大学	福島県郡山市	9,200,000円	100名

また、競合校の過去3年間の入学志願状況は以下のとおり、当学科以外は入学定員の未充足が続いている状況である。＜表2＞

＜表2. 競合校の入学志願状況＞

大学名	年度	入学 定員	志願者 数	受験者 数	合格者 数	入学者 数	実質競争 倍率 (受験者数/ 合格者数)	入学 定員 充足率
東北医科薬科大学【本学】	令和4	300	862	834	566	321	1.5	1.07
	令和5	300	720	696	569	302	1.2	1.00
	令和6	300	643	624	570	302	1.1	1.00
青森大学	令和4	70	48	47	46	24	1.0	0.34
	令和5	50	53	51	50	39	1.0	0.78
	令和6	50	46	44	43	32	1.0	0.64
岩手医科大学	令和4	80	121	102	73	32	1.4	0.40
	令和5	80	119	106	73	35	1.5	0.43
	令和6	50	88	81	70	33	1.2	0.66
医療創生大学	令和4	60	128	116	109	41	1.1	0.68
	令和5	60	118	110	109	38	1.0	0.63
	令和6	60	89	86	79	28	1.1	0.46
奥羽大学	令和4	140	162	159	106	58	1.5	0.41
	令和5	100	162	162	106	59	1.5	0.59
	令和6	100	103	103	52	19	2.0	0.79

本学においては、近年、定員未充足となっている年度はなく、また、以下のとおり薬剤師国家試験においては、新卒・既卒を合わせた合格率において、私立薬系大学の全国平均を上回っており、安定的な実績を残している。＜表3＞

＜表3. 当学科の薬剤師国家試験結果（過去3年・新卒及び既卒の合計）＞

	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	全国私立大学 合格率
第107回(令和4年3月発表)	438	388	274	70.62%	66.96%
第108回(令和5年3月発表)	447	398	290	72.86%	67.99%
第109回(令和6年3月発表)	445	400	283	70.75%	67.11%

③先行事例分析

既存の薬学部薬学科の入学定員削減のため、該当なし。

④学生確保に関するアンケート調査

既存の薬学部薬学科の入学定員削減のため、該当なし。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

『6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ』（令和4年9月1日付け4高医教第13号）を踏まえた、当学科の過去5年間の実質競争倍率等については、【資料6：【薬学部薬学科】実質競争倍率・収容定員充足率・退学率の推移等】のとおりである。

入学定員を300名から280名に削減することにより、仮に令和6年度の在籍者数をベースで、「収容定員充足率」を再計算すると、収容定員1,800名が初年度は1,780名となり、令和6年5月1日付の薬学科の在籍者数が1,780名であることから、収容定員充足率は「0.98」から「1.00」に改善されることになる。

近年の薬学科の入学者選抜における実質競争倍率の低下は、アドミッション・ポリシーに沿った十分な学生選抜が行われているとは言い難い状況が続いている。実際、1年次学生の退学者数が増加しており、その退学理由の多くが成績不振かこれに関連した体調不良による進路変更である。入学定員の削減により、実質競争倍率が上昇することで、このようなミスマッチと思われる入学者の減少が期待される。同時に、学生対応の点では、本学で導入しているクラス担任制度上、教員一人当たりの担当学生数が減少することで、よりきめ細かく学生に対応することが可能となり、これにより一定程度の学力の質の担保が可能となると考える。

完成年度まで20名ずつ減少し、完成年度においては、薬学部薬学科の収容定員1,680名となることから、緩やかながら収容定員充足率の改善が見込まれる。

（4）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

受験人口については今後も減少が続くことは不可避であり、これまでの志願者の主な居住地域である東北地方においては、関東圏や関西圏などに比べ受験人口の減少スピードが速く、今後の志願者数の回復を見込むことは極めて困難なものと予想される。【資料1（再掲）】

本学においても、以下のとおり令和2年度以降、志願者数は減少している。＜表4＞

＜表 4. 薬学部薬科学科入学志願状況並びに休退学者・留年者数の動向（直近 5 年間：
令和 2 年度～令和 6 年度）＞

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入学定員	300名	300名	300名	300名	300名
志願者数	965名	930名	862名	720名	643名
入学者数	321名	306名	321名	302名	302名
総定員数	1800名	1800名	1800名	1800名	1800名
総定員充足率	1.04	1.05	1.05	1.02	0.98
休学者数	12名	21名	21名	31名	
退学者数	14名	38名	53名	64名	
留年者数	57名	157名	194名	180名	

この十分な志願者数を確保できていない現状では、たとえ入学定員を満たしている状況であっても、入学者の学力は当学科のディプロマ・ポリシーを達成するために必要な水準に達しているとは言い難い。実際、令和 3 年度以降、留年者数、休退学者数が大幅に増加し、特に退学者数の増加は、令和 6 年度以降の総定員数の未充足に繋がっている。留年生、休退学者の抑制に関しては、薬学部教務委員会でリメディアル教育を含む低学年教育の見直し、カリキュラム改訂時に 1 年次準備教育の強化・充実などを検討している。

また、これに加えて、薬学教育センターでの学習相談や補習授業を実施しているが、現時点では大幅な改善には至っていない。【資料 7：教務委員会議事録（令和 6 年度 第 2 回（R6. 5. 20）、第 3 回（R6. 6. 24）、第 6 回（R6. 9. 24）分）】

少子化による 18 歳人口の減少及び全国の私立薬科大学（薬学部）6 年制学科における志願者数・入学者数の減少傾向を踏まえると、当学科において入学定員を 300 名から 280 名に削減することはやむを得ない【資料 8：志願状況等一覧】が、上述したこれまでの当学科の志願者数・入学者数に関する実績に加え、定員充足のための更なる取組みを進めていることから、新たな入学定員 280 名の充足と維持については十分見込まれるものとする。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目 次

資料 1	18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 関係資料……………p. 2 (出典：文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）参考資料集（5／11）」より) URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360.htm
資料 2	薬学科卒業生の進路実績（令和3年度～令和5年度卒業生）……………p. 16 (学内資料につき省略)
資料 3	令和6年度 在学生(3年生)出身校都道府県別調べ……………p. 27 (出典：「日本私立薬科大学協会だより」より) (一般社団法人日本私立薬科大学協会作成につき省略)
資料 4	収容定員の充足状況……………p. 28 (学内資料につき省略)
資料 5	地域支援制度のパンフレット……………p. 29 (学内資料につき省略)
資料 6	【薬学部薬学科】実質競争倍率・収容定員充足率・退学率の推移等……………p. 33 (学内資料につき省略)
資料 7	教務委員会議事録（令和6年度第2回(R6. 5. 20)、第3回(R6. 6. 24)、第6回(R6. 9. 24)分) p. 34 (学内資料につき省略)
資料 8	志願状況等一覧……………p. 43 (出典：文部科学省「薬学部における修学状況等」より) URL：https://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/1361518.htm

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	オオノ イサオ 大野 勲 ＜令和5年4月＞		医学博士		東北医科薬科大学 学長 (令和5.4～令和8.3)